

産力、大隅半島の最低気温や生産力の研究がこの古い研究室で遂行され、前者は皆様のおかげで私の学位論文にまで相成った。だから研究室の不足など云うと罰が当たると今も思っている。この頃から法政大学を兼務してそこに2.5×6 m位の研究室をやっと入手したが、2人分の机と本立でもう一杯であり、資源研から私物を移すには余りに狭いので、他の1人に譲り、研究は新大久保の資源研、生活費は飯田橋の大学(学生教育の恩恵は別として)という不便な10余年を過ぎて来た。幸いにして外遊1年、その後3年目には本学に招かれた。

そのときの席は図書室の一隅を本箱と衝立で仕切ただけのもだったが、研究と教育がここに集中して出来るだけでも、文句どころではなかった。その夏、学生控室を半分に間仕切して個人研究室ができ、買い始めた気候学関係図書・器機と共に収まったときの喜びは、上述の道を永く歩いて来た私には特に大きかった。あれから5年、今私は新しい文教育学部本館7階の南西端に45 m<sup>2</sup>の実験研究室を得た。夢のような気持である。第1に広い。先日までのように体を横にし物を落さぬように心配して歩くことはない。ガス・水道・電話は勿論、電力は3相200Vまで入っている。机・戸棚・実験台・会議机・肘付椅子まで必要数が揃えられた。窓外には東京首部が一望の裡にあり、気候屋には特に好都合。夏季における西壁の焼けに挑もうと志願して入ったこの部屋は、流石に夕刻8時頃には40℃に達して、これまた気候屋の敵愾心を煽る。現に8月の赤外放射温度計による観測でさらけ出されたその結果は、間もなく本学の自然科学報告の活字になろうとしている。

私は順調に行けばもう7年余、この部屋のご厄介になれるはずである。やりたいそしてやるべき実験・研究はこのほか、凍融地形実験、自然物、とくに白い微小水滴の放射率測定……アイスランド全国地誌の完成、生産力的研究の深化……と限りない。今私自身この研究室に対して満腔の感謝を禁じ得ないと共に、それに見合う研究・教育を果さねばと切に思っている。ここで更に、どなたでもこの絶景を見にお立寄り下さったついでに、御鞭撻とアドバイスを戴ければと願っているものである。

## 松井先生と共に

浅海重夫

昭和28年以来、松井先生と共にお茶大で過ごして20年近くになる。先生は新制大学設立後の飯本主任時代と、そのあとの渡辺主任時代を通じ、また期間は短かったが先生御自身の主任時代

にいたるまで、地理教室の安定と発展にのみならず貢献をされてきた。それは和のために自己を殺す先生の生活信条と、厳正で几帳面な先生の生活態度によるものと私は信じている。

研究面では農業地理学におけるフィールド調査の重要性を身をもって示され、新制大学発足に当たっての気候学の開講や、主任交替後の教育方針に即した地形と土地利用の対応研究例の実践などに、先生の真面目をうかがうことができる。那須で微地形の現地調査に同行して地形面の細分類について論じたり、農家をめぐって労働日誌の回収のお手伝いをしながらききとり調査法を習ったりしたことも、今はなつかしい思い出である。

先生は常に朝早く登学され、講義時間以外は本を読まれたり地図をひろげておられた。床の雑布がけも御自分でなさり、整頓と清潔を旨とされるが、ただきれいにするだけではなく、戸閉り火の元その他安全対策にとくに厳密な注意を払われるのである。近頃では早朝出勤と雑布がけの方はやや緩和されているようだが、さすがにようやくお年令<sup>とし</sup>のせいかもしれない。

先生と最も長く、最も親しく共にすごし、先生のご心情を誰よりもよく存じあげていると自負する者として、先生のご退官を前にひとことのべずにはいられなかった次第である。

## カナダ北極、アクセル・ハイベルグ島のエキスカージョン

式 正 英

1972年7月下旬、コペンハーゲンからモントリオールに向うジェット機は、高々度でグリーンランドの沖合をかすめて飛ぶ。陽光に輝く海波の縮緬模様の中に、いくつもの氷塊が、ゆっくりと南に向かって流れてゆくのが見える。今世紀の初め、悲劇の巨船タイタニック号を沈めたと同じ氷山が、脚下にあると思いながら固唾をのんだ。それから5日たった7月31日朝、国際地理学会議のブレ・コンgres・エキスカージョンの北極組が、ドルヴァル空港のノルドエアの受付に集った。フランス人7、アメリカ人7、日本人2、カナダ人2、ドイツ人1、イギリス人1の20名の隊員と、隊長のスイス人夫妻、助手の3名の計23名である。ノルドエアはミニ・ジャンボのボーイング737型機で、バフィン島のフロビッシャー・ベー(63°N、バフィン島、アンカレッジより少し北に偏する)を経て、レズリュート基地(75°N、コンワリス島)まで飛ぶ。ウィスキー・ソーダのグラスを傾けながらの快調の旅である。

「あれがモスコクスン(ジャコウ牛)だ！」と隊長のフリッツ・ミュラーが叫んだ。レズリュエ